

新年度が

霧島市議会が2019年度の
当初予算を2019年12月15日
の議決を経て、2020年度の
施政方針と当初予算を2020年1月15日
に開かれ、

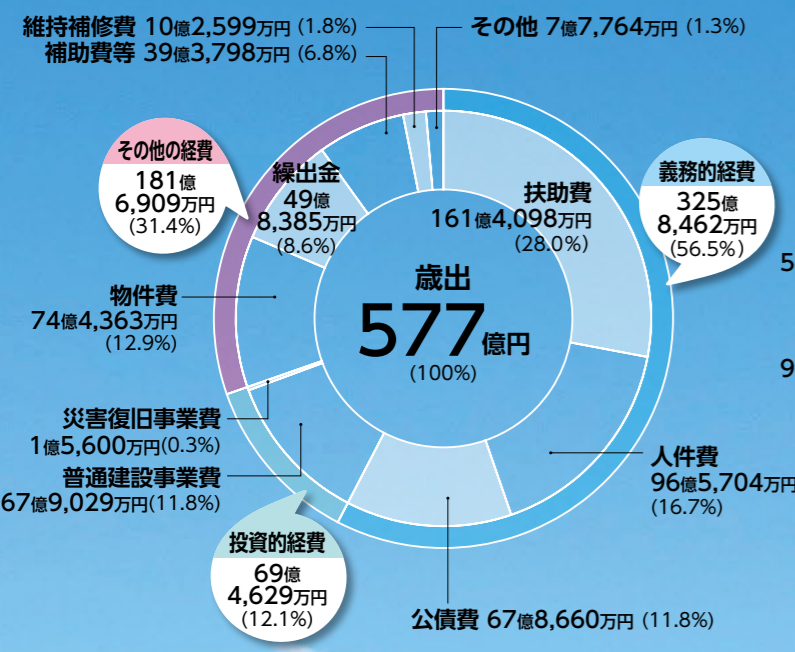
よりよい明日へ

よーいドン!

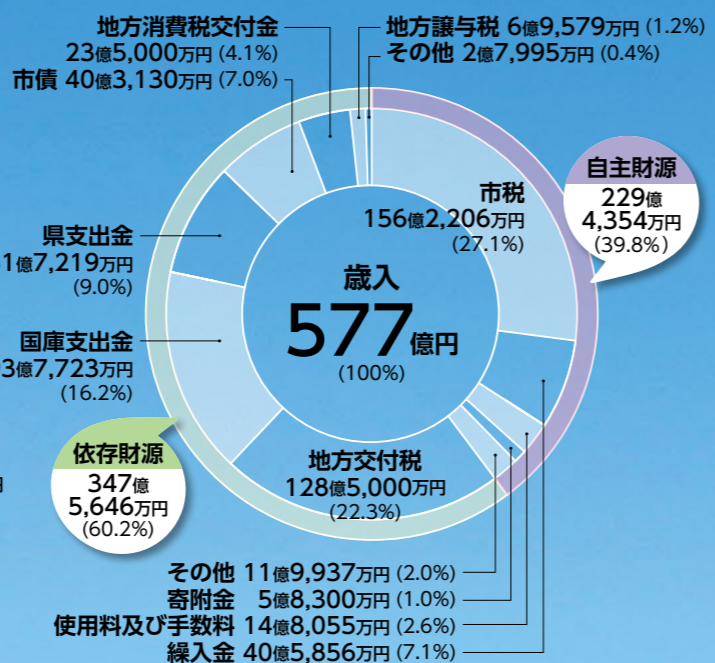
2019年度
施政方針と当初予算



◎一般会計歳出(性質別)

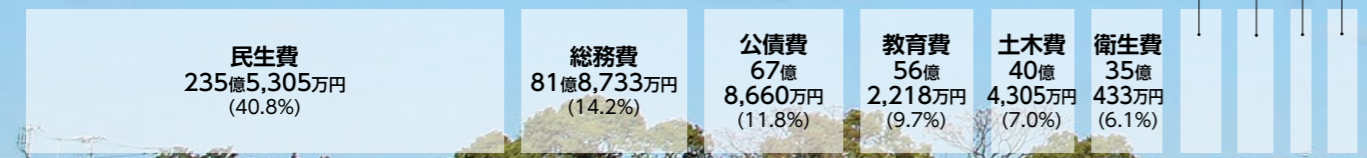


◎一般会計歳入



※グラフ内の(%)は構成比

◎一般会計歳出(目的別)



※市の当初予算案は財政課、情報公開室(国分シビックセンター行政庁舎本館4階)、各総合支所地域振興課、市ホームページなどで公開しています。

予算書はこちらからご覧ください。



私が一昨年11月に霧島市長に就任してから1年3カ月が経過しようとしています。この間、中山間地域などの光ファイバー網整備や市街地の浸水対策、全小中学校の普通教室への空調設備設置など、市民の利便性向上につながる施策を積極的に進めてまいりました。

これまでの市政運営にご理解・ご協力を賜りました議会をはじめ、市民の皆さまに心から感謝を申し上げます。

2019年度は、2020年の第75回国民体育大会リハーサル大会や全国高等学校総合体育大会南部九州総体、全国都市問題会議など、全国規模のイベントが相次いで本市で開催されます。それらの準備に万全を期すとともに、全天候型「こども館」の設置や市街地の交通渋滞対策、農業政策のさらなる推進など、市政のあらゆる課題に対して引き続き市民の皆さまの声を傾けながら、本市発展のために全力で取り組んでまいります。

増える行政需要への確に対処

本市はこれまで市債残高の縮減や基金残高の確保を図りながら、健全な行政運営に努めてまいりました。しかし、普通交付税の合併特例措置が段階的に縮減される中、社会保障関係費の増加や公共建築物の老朽化対策など、行政需要はますます増大する見込みで、確に対処する必要があります。

光、国体などに予算3・4%増

2019年度の予算は「持続可能な健全財政の確立」「将来の市民負担軽減」「スクラップアンドビルドの推進」「市民への説明責任」を基本に、市総合計画を踏まえながら喫緊の課題に的確に対処し、幅広い世代に切れ目なく施策を展開するための事業などを盛り込み、総額577億円の一般会計予算を編成しました。前年度と比較して、4%の増額となりましたが、これは光ファイバー網の整備や国民体育大会の準備などに必要な経費の増額によるものです。

財政調整に活用可能な財政調整基金残高は、市経営健全化計画で定める計画額とほぼ同額となり、おむね計画に沿った予算編成となりました。

◎**問II 企画政策課 ☎(64)0914**

※次のページでは2019年度に実施する事業の一部を紹介します。

もっと詳しく、 まちの全体予算

■全会計の歳出予算額比較 (対前年度)

市の会計には、福祉や教育・道路整備など皆さんの生活に広く関わる「一般会計」、国民健康保険など特定の事業を行うために設けた「特別会計」、水道や病院など一定の収益性が求められる「企業会計」の3つがあります。

2019年度は、下水道事業の経営基盤強化を図るため同事業を特別会計から企業会計に移し、3会計全体予算は前年度比4.1%増の979億8,461万円となりました。

会計区分	2019年度	2018年度	増減率 (%)	
一般会計	577億 円	558億1,000万円	3.4	
特別会計	国民健康保険	152億2,863万円	149億2,898万円	2.0
	後期高齢者医療	13億8,069万円	13億6,054万円	1.5
	介護保険	113億7,311万円	109億1,610万円	4.2
	交通災害共済	1,599万円	1,779万円	-10.1
	下水道	0円	17億5,104万円	-
	温泉供給	7,111万円	6,901万円	3.0
	小計	280億6,953万円	290億4,346万円	-3.4
企業会計	水道	19億6,679万円	18億9,587万円	3.7
	工業用水道	2,462万円	2,522万円	-2.4
	病院	58億9,942万円	56億 363万円	5.3
	下水道	12億9,588万円	0円	-
	小計	122億1,508万円	92億6,567万円	31.8
	合計	979億8,461万円	941億1,913万円	4.1

■目的税などの充当事業

課税される人や使い道が特定されている税金を「目的税」といいます。例えば「入湯税」は入湯客に課税され、観光振興などの経費に使われます。

目的税など	充当事業	金額
入湯税	消防施設等整備事業	2,571万円
	観光施設整備事業	286万円
	観光振興事業	7,143万円
都市計画税	土地区画整理事業	3億2,487万円
	街路事業	5,615万円
	公園事業	190万円
	公債費	1億1,938万円
地方消費税交付金 (社会保障財源化分)	社会福祉	7億8,499万円
	社会保険 (国民健康保険、介護保険)	2億 219万円
	保健衛生 (予防費、健康増進費など)	8,519万円
航空機燃料譲与税	騒音等障害防止	3,774万円
	空港に関連する道路等の整備	1億1,226万円
森林環境譲与税	担い手育成・確保	318万円
	生産基盤整備	200万円
	森林整備・森林管理	2,402万円
	木材利用促進	659万円

情報 information



アルバック九州株式会社
川野寿也さん(48)

光回線は必須のインフラ 今後の企業誘致にも好影響

私たち電子機器メーカーは日頃から、設計データのやり取りやインターネット会議など大きな情報量を扱います。光回線が使えれば通信速度が格段に上がり、業務の改善につながります。*IoTやAI(人工知能)などの先端技術導入を見据える企業には、光回線は欠かせないインフラ。光回線の敷設は、市の企業誘致にも好影響をもたらすはずで。

光ブロードバンド整備

事業費(第1期): 9億7,200万円

市民生活の利便性向上や経済・観光の振興を図るため、超高速ブロードバンド未整備地域に光回線網を整備する。

*物同士をインターネットでつなぎ制御する仕組み。

農業 agriculture



農業委員会会長
梶島陸夫さん(60)

新規就農者向けの支援 農業人口増加に期待増す

霧島市では水稲や園芸の後継者不足が特に深刻です。農業に興味を持つ若者がいても、就農にかかる多額の初期投資が課題。大規模農家向けの国の支援は彼らには不向きです。そこで市が始める、中小農家向けの支援はまさに農業人口増加に期待を持たせる制度。今後は、農業をやめた人の資材を有効活用する制度なども期待したいですね。

担い手経営発展等支援

事業費: 2,400万円

担い手農家を育成・確保するため、認定農業者や認定新規就農者などに市が独自で機械・施設の整備などの補助を行う。

商業 commerce



国分中央の親子
佐々木明子さん(39)
凛理ちゃん(2)

空き店舗が、親子で行ける おしゃれな店になったら

8年前、他県から引っ越してきたのが国分の商店街近く。昼間に開いている店や幼い娘とくつろげる店が少なく、外食や買い物はつい郊外の大型店を選んでしまいます。でも、たまに見掛ける空き店舗がキッズスペースを備えた店やおしゃれな店に変わったら、ぜひ利用してみたいです。娘も将来きっと利用する商店街。にぎやかになってほしいですね。

まちなかりノベーション推進

事業費: 150万円

商店街の再生・活性化のため、まちなかの遊休資産を有効活用するための講演会を開き、空き店舗などを活用した起業を促す。



2019年度の事業概要

教育 education

前年度予算からの繰越事業



富隈小学校保護者・児童
松元裕樹さん(42)
萌結さん(9)

教室にエアコン設置 夏も安心できる学習環境へ

教室での夏の暑さ対策は現在、天井に付いている扇風機と窓からの風くらい。こまめな水分補給が欠かせず、降灰がある日は窓も閉めざるを得ません。顔を真っ赤にして授業に臨む子どもや先生たちを授業参観で見ると、熱中症が心配でした。教室にエアコンが付けばその不安もなくなり、さらに授業に集中できる環境が整うものと期待しています。

小中学校等施設整備(空調整備)

事業費: 20億1,442万円

近年の猛暑による熱中症対策として、市内の市立幼稚園・小中学校の普通教室、特別教室、職員室などに空調設備を設置する。

スポーツ sports



溝辺体育館利用者
野間みはるさん(41)

誰もが気持ちよく使え 国体後も愛される施設に

私が参加するママさんバレーチームや地域の体育大会などで利用される溝辺体育館。2020年かごしま国体のハンドボール競技会場です。広くて使いやすいですが、トイレは和式で暗く、水がよく詰まります。洋式トイレできれいになれば、年配の方や障害がある方も気持ちよく利用できるはず。国体後もみんなに愛される施設になるとと思います。

国体などの開催に向けた取り組み

事業費: 8億761万円

2020年のかごしま国体・障がい者スポーツ大会などの会場となる体育館や競技場、施設などの環境を整備する。

保健 health



市学校保健委員会
植木勲さん(45)

効果的なワクチン接種 公費助成で普及に期待

感染力が強いロタウイルスは毎年流行し、中には胃腸炎や脳炎・脳症などで入院する人もいます。これといった特効薬はなく、ワクチンによる感染予防が最も効果的な対策です。自治体が公費で予防接種費用を一部助成すれば、乳幼児がいる家庭の経済的負担を軽減するとともに、ウイルスへの理解が広がり予防接種率の向上が期待できます。

ロタウイルス予防接種費用助成

事業費: 1,768万円

5歳までのほとんどの子どもが感染するといわれる「ロタウイルス」のワクチン予防接種費用の一部を助成する。